

日本共産党・広次忠彦です。発言通告にそって、一問一答方式で質問します。

最初に、家庭ごみの有料化について質問します。前回は指摘しましたが、大分市は、家庭ごみの有料化は、ごみの発生抑制や排出抑制、さらには資源ごみに対する分別の徹底が図られることから、循環型社会の実現にむけた有効な手段の一つとしています。生活のなかで出さざるごみは、その量は別として、出さざるを得ないものであり、法の趣旨に則れば、地方自治体が独自に無料でおこなうべきものと考えます。ごみの発生抑制や排出抑制には、ごみがでるような商品、包装などを見直していくことが重要です。資源物の分別などは、教育や啓発の推進などですすめていくべきではないでしょうか。家庭ごみの有料化によって、本当の意味での発生・排出抑制や分別の徹底が図られるとは考えられません。家庭ごみの有料化はすべきではありません。

そこで1点目は、この間、開かれてきた説明会に関連して質問します。私が参加した説明会のなかでも、「税や保険料の負担が重い。1日の食事を2回にしている。これ以上の負担はできない」とか、「減量が目的なら、指導の課題」など、有料化に反対や疑問を呈する声が数多くあがっています。

こうした市民の声をどのように受けとめているのでしょうか。(質問1)

説明会でのアンケートは「有料化ありき」の設問になっています。これは以前のアンケートと同じ手法です。これでは「説明会を開いた」という「実績」をつくるためだけの説明会ではないでしょうか。(質問2)

市民の声と、市の方向性や清掃事業審議会の間答申とが、あまりにかけはなれている現状を考慮するならば、清掃事業審議会で、あらためて再検討すべきではないでしょうか。(質問3)

2点目は、ごみの減量化について質問します。

家庭ごみの有料化が、ごみの減量に資するとされていますが、まず全体として、ごみの減量をどこまですすめる計画なのでしょうか。(質問4)

家庭ごみの有料化によって、どの程度、ごみの減量を見込んでいるのでしょうか。(質問5)

家庭ごみの有料化によって、ごみの減量が将来的にどのようにすすんでいくのでしょうか。(質問6)

3点目は、ごみの処理経費について質問します。

ごみの処理経費は減っていますが、その要因はどこにあると分析しているのでしょうか。(質問7)

さらにごみの処理経費を減らすには、どういう方法を検討されているのでしょうか。(質問8)

助燃剤かかる費用を減らすためには、水分を減らすことが有効と思います。助燃剤の費用削減にどのような対策をされているのでしょうか。(質問9)

ごみの処理経費が減れば、家庭ごみの有料化はする必要がないのではないのでしょうか。(質問10)

4点目は、有料化による市民負担の問題です。

公平性をいいますが、しっかり分別している人にも負担を強いることとなります。この問題をどのようにかんがえているのでしょうか。(質問11)

1割1円・4割40円などは高すぎるという声が圧倒的です。こうした料金設定はやめるべきではないのでしょうか。(質問12)

5点目は、「日本一きれいなまちづくり」との関係です。この取り組みに、参加を表明されている人も、いない人も含め、多くの市民も参加されていることと思います。説明会でも、疑問や要望が出され、「今後の検討」と回答されています。こうした問題は、庁内あるいは審議会で、当然方向性をもたれて、説明会に望むべきではないでしょうか。(質問13)

家庭ごみの有料化が実施されれば、どのような方法でボランティア活動を支えていくのでしょうか(質問14)

つぎの質問に移ります。市民の安全と平和にかかわって質問します。

MV22オスプレイの配備・飛行訓練について、全国知事会をはじめ多くの団体や地方で、反対や慎重な対応を求める意見が上がっています。米海兵隊の資料によると、九州の上空にはイエロールートと称する飛行訓練域があり、大分上空も飛行訓練がされるようになっていきます。MV22オスプレイは、機体の欠陥が指摘されており、墜落事故を繰り返している欠陥機が、大分上空を低空飛行訓練など、市民の生活と安全にとって絶対許されるものではありません。

そこで質問しますが、MV22オスプレイの配備・飛行訓練について、どのような受けとめをされているのでしょうか。(質問15)

配備・飛行訓練が強行された場合、市民の安全を守るうえで、どのような対策を考えているのでしょうか(質問16)

MV22オスプレイの配備・飛行訓練を、やめるように国に意見を伝える考えはないのでしょうか。(質問17)

最後の質問に移ります。陸上自衛隊と在沖縄米海兵隊との共同演習について

です。陸上自衛隊日出生台演習場で、10年ぶり5回目となる陸上自衛隊と在沖縄米海兵隊との共同演習が、8月19日から30日まで行われました。今回の訓練では、米軍車両と隊員は、関係自治体・住民にルートを一切公表することなく、山口県の岩国基地を經由して、8月16日夜から17日にかけて、陸路で演習場入りしたものとみられています。米軍指揮下の岩国基地を使い、演習を秘密裏にすすめようと意図がありありとしています。米軍の傘下のもとに、南西地域島しょ部の防衛力強化を、日米政府ともに急いでいると思われま

そこで質問しますが、今回の演習で、市民の安全を守るために、どのような対策をとられたのでしょうか。（質問18）

【自転車の安全対策】

つぎの質問に移ります。交通安全計画にかかわって質問します。昨今の自転車による交通事故の多発によって、規制を厳しくしようという計画・取り組みがおこなわれています。

大分市においても、同様の規制がおこなわれると、どのような事態になると考えておられるでしょうか、見解を求めます。(質問7)

自動車、バイク、自転車、歩行者を完全に分離することができれば、交通事故は激減すでしょう。しかしかなりの困難がともなうことは必至です。そこで質問しますが、分離するための対策をどのようにすすめていく考えか、見解を求めます。(質問8)

つぎの質問に移ります。緊急通報システムについてです。NTT回線しか利用できません。全部の会社を利用できるように研究をすすめる考えはないでしょうか、見解を求めます。(質問9)